

平成 29 年 10 月 2 日

NPO 法人 L i n k
放課後等デイサービス P A R T Y
代表・理事 國松基祥

自己評価表及び保護者からの評価結果報告

平成 29 年 9 月に事業所のサービスの質の評価を事業所及び、保護者さまにご協力いただき、実施いたしましたのでご報告いたします。

○評価実施期間

平成 29 年 9 月 13 日～9 月 29 日

○評価実施数

事業所分	1 部
保護者分	14 部

○評価表返却数

事業所分	1 部
保護者分	13 部

○事業者の評価結果

別途添付の自己評価表を参照のこと

自己評価からの改善点

- ・施設内のバリアフリー化の適切化
- ・業務改善のための P D C A サイクルへの広い職員の参加
- ・自己・保護者評価の公表（平成 30 年 3 月 31 日までに公表予定）
- ・標準化されたアセスメントツールの作成と使用
- ・サービス担当者会議への参加
- ・医療的ケアを必要とする児童の主事との連携体制（現在受入無、今後受入予定無）

- ・専門機関との連携と助言や研修の受講
- ・保護者へのペアレントトレーニングの実施
- ・父母会の発足、保護者会の実施、保護者同士の連携の支援
- ・緊急時の対応マニュアルなどの保護者への通知
- ・身体拘束をやむを得ず行うことの詳細を個別支援計画への記載

○保護者からの評価結果

環境・体制整備

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| ① 「はい」・・・12人 | 「どちらでもない」・・・1人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ② 「はい」・・・11人 | 「どちらでもない」・・・2人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ③ 「はい」・・・8人 | 「どちらでもない」・・・3人 | 「いいえ」・・・2人 |

適切な支援の提供

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| ④ 「はい」・・・13人 | 「どちらでもない」・・・0人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑤ 「はい」・・・13人 | 「どちらでもない」・・・0人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑥ 「はい」・・・12人 | 「どちらでもない」・・・1人 | 「いいえ」・・・0人 |

保護者への説明等

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| ⑦ 「はい」・・・13人 | 「どちらでもない」・・・0人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑧ 「はい」・・・13人 | 「どちらでもない」・・・0人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑨ 「はい」・・・13人 | 「どちらでもない」・・・0人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑩ 「はい」・・・1人 | 「どちらでもない」・・・5人 | 「いいえ」・・・7人 |
| ⑪ 「はい」・・・11人 | 「どちらでもない」・・・2人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑫ 「はい」・・・13人 | 「どちらでもない」・・・0人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑬ 「はい」・・・11人 | 「どちらでもない」・・・1人 | 「いいえ」・・・1人 |
| ⑭ 「はい」・・・12人 | 「どちらでもない」・・・0人 | 「いいえ」・・・1人 |

非常時の対応

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| ⑮ 「はい」・・・10人 | 「どちらでもない」・・・2人 | 「いいえ」・・・1人 |
| ⑯ 「はい」・・・11人 | 「どちらでもない」・・・1人 | 「いいえ」・・・1人 |

満足度

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| ⑰ 「はい」・・・12人 | 「どちらでもない」・・・1人 | 「いいえ」・・・0人 |
| ⑱ 「はい」・・・12人 | 「どちらでもない」・・・1人 | 「いいえ」・・・0人 |

保護者評価からの改善点

- ・施設内のバリアフリー化の適切化
- ・父母会の発足、保護者会の実施、保護者同士の連携の支援
- ・苦情解決窓口に関する詳細の保護者への発信
- ・緊急時の対応マニュアルなどの保護者への通知

総評

今回の評価により上記のことの改善が明確になった。すぐに対応できる今回実施の評価結果の公表、緊急時対応マニュアルの通知や避難訓練実施の報告、苦情解決窓口の詳細に関するものの発信などは、平成30年3月31日までに当社ホームページ上で公表を予定している。また、身体拘束をやむを得ず行うことの詳細を個別支援計画への記載に関しては現在作成されている後期の個別支援計画を保護者の了解を得て、順次変更していく。

業務改善のためのPDCAサイクルへの広い職員の参加、専門機関との連携と助言や研修の受講については、順次準備を整え、年内に実施予定である。

サービス担当者会議への参加は近隣の事業所との連携が取れていないので、関係性の構築を行い、順次参加できるように努力していく。

標準化されたアセスメントツールの作成と使用、保護者へのペアレントトレーニングの実施については、専門家の助言や専門書などからの情報の収集などを行い、科学的な根拠に基づいたものを作成し年度内に実行していきたい。

その他、施設内のバリアフリー化に関しては、財政的な面もあり、危険な所にはクッションを付けるなど事故が起きない工夫をしていき、実施できる段階で改修していく。また、医療的ケアを必要とする児童の主事との連携体制においては、現段階ではそのような児童を受け入れられる設備が無い為受け入れていない。今後の必要に応じて体制を整えていく。